

大阪府・大阪市スーパーシティ構想 【全体計画 骨子（案）】

2022（令和4）年9月5日

目次

はじめに

全体計画策定の経緯

全体計画と区域計画の案（基本構想）について

第1章 なぜ大阪はスーパーシティをめざすのか

大阪がスーパーシティの実現をめざす背景

世界有数の都市 大阪

「グリーンフィールド」で先端的服务をいち早く実装

全国都市のデジタル化をリード

第2章 大阪のスーパーシティ構想の概観

「健康といのち」をテーマに住民QoLを向上させる先端的服务を展開

大阪のスーパーシティがめざす未来ビジョン

住民一人ひとりの生活の質が向上し、都市が成長し続ける大阪

2025年 大阪・関西万博を機に “豊かな未来社会” を実現

スーパーシティ実現のスケジュール

第3章 構想実現に向けたチャレンジ

2つのグリーンフィールドの3つのプロジェクト

夢洲：夢洲コンストラクション

夢洲：大阪・関西万博

うめきた2期 Parkness Challenge

将来の姿～万博レガシー～

広域データ連携基盤による府域展開

第4章 推進体制

スーパーシティ構想の推進体制

はじめに

全体計画策定の経緯

大阪府・大阪市は、複数分野の先端的サービスの提供と大胆な規制改革等によって、世界に先駆けて未来の生活を先行実現する「まるごと未来都市」であるスーパーシティの実現をめざしている。

これまでの経過としては、令和2年12月に内閣府により「スーパーシティ型国家戦略特別区域」の指定に関する公募があり、大阪府・大阪市では、2つのグリーンフィールド（夢洲、うめきた2期）における3つのプロジェクト（夢洲コンストラクション、大阪・関西万博、うめきた2期）での先端的サービスや規制改革について提案し、国家戦略特区諮問会議を経て令和4年4月、政令閣議決定により大阪市域が区域指定された。

地元自治体として、大阪がめざすスーパーシティの実現に向けて、官民連携のもと強力に推進するために、大阪のスーパーシティがめざす姿、指定区域で実施をめざす先端的サービス及び規制改革の内容等を示す必要があり、このため、これらを全体的に取りまとめた全体計画を策定するものである。

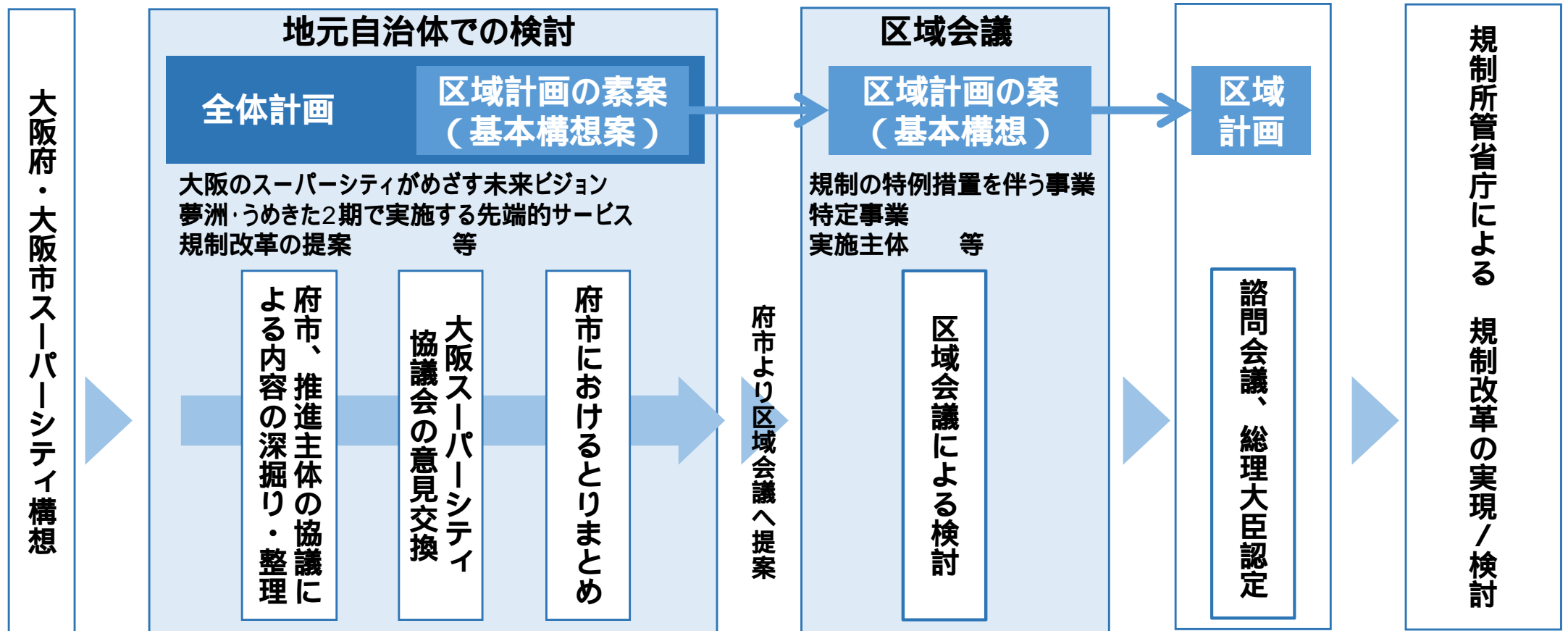
令和4年6月に大阪スーパーシティ協議会を初めて開催し、経済団体や公益社団法人2025年日本国際博覧会協会及びスーパーシティ構想に関係を有する団体等とともに意見交換を行い、全体計画をとりまとめている。

スーパーシティ型国家戦略特別区域

「複数分野の大胆な規制改革と併せ、データ連携基盤を共同で活用して複数の先端的サービスを官民連携により実施する区域」（国家戦略特区基本方針）

全体計画と区域計画の案（基本構想）について

- 全体計画とは、地元自治体として大阪のスーパーシティがめざす姿、指定区域で実施する先端的服务及び規制改革の内容等を全体的に取りまとめた計画である。
- スーパーシティ型国家戦略特区の手続きとして、国家戦略特別区域法に基づき設置される区域会議において、規制の特例措置を伴う事業や特定事業の内容、実施主体等を記載した区域計画の案（基本構想）を作成する。全体計画のうち規制改革を伴うものについては、区域計画の素案として大阪府市より区域会議へ提案していく。



第1章

なぜ大阪はスーパーシティをめざすのか

デジタル社会の実現

大阪がスーパーシティの実現をめざす背景

- 大阪は、世界有数の人口集積と経済規模を持つ都市である。大阪府・大阪市では、これまで、住民QoLの向上をめざして様々な社会課題に先端技術を活用しながら効率的・効果的に対応するスマートシティの推進に取り組んできた。
- 大阪には夢洲（夢洲コンストラクション、大阪・関西万博）及びうめきた2期の2つのグリーンフィールドがあり、一からまちづくりを行うグリーンフィールドの性質から速やかに先端的服务の実証や実装が可能となる。これら2つのグリーンフィールドで進めている特色ある取組としては、モビリティやヘルスケアの分野がある。
- 大阪広域データ連携基盤（ORDEN）の構築により、全国都市のデジタル化をリードしていく。
- こうした背景を踏まえて、規制改革を伴う先端的服务の提供を強力に推進するスーパーシティ制度を活用することで、ヘルスケアとモビリティの分野を中心に、より多くの先端的服务を実装し、「技術革新と課題解決の好循環」「イノベーション創出」を図り、働きやすく住みやすい、健康で快適な質の高い暮らしと、大阪の成長・発展の実現をめざす。

1

世界有数の都市 大阪

圧倒的な人口集積を誇り、世界有数のグローバル都市である大阪において、唯一無二の日本を代表するスーパーシティをめざす

大阪の人口

879万人

（令和4年）

大阪の経済規模
（府民経済計算）

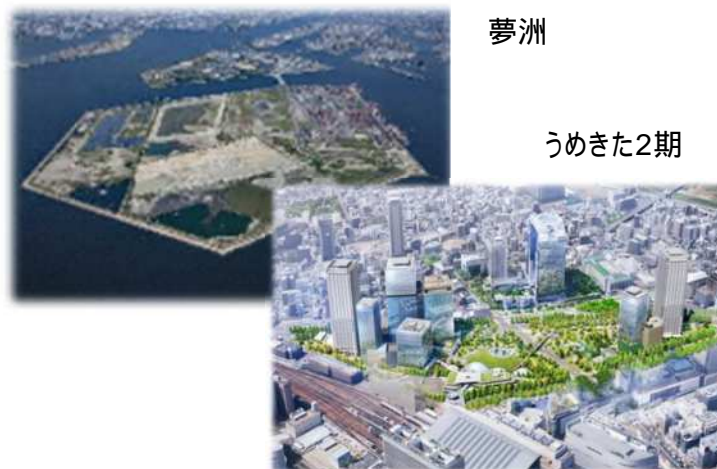
約41兆円

（令和元年）

2

「グリーンフィールド」で 先端的服务をいち早く実装

グリーンフィールドでいち早く先端的服务を実装させ、スーパーシティ構想の実現に取り組み、先端的服务の全国展開への道筋を作る。



夢洲

うめきた2期

イメージパース（提供：うめきた2期地区開発事業者）

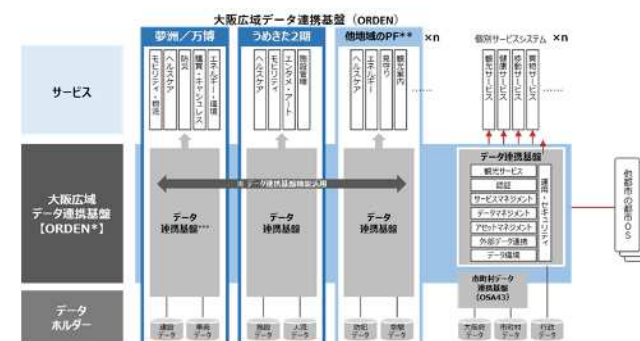
3

全国都市の デジタル化をリード

大阪広域データ連携基盤（ORDEN）構築により、全国都市のデジタル化をリードする

大阪広域データ連携基盤（ORDEN）

公民の様々なデータ連携・流通を促進し、府民の利便性向上に資するサービス創出

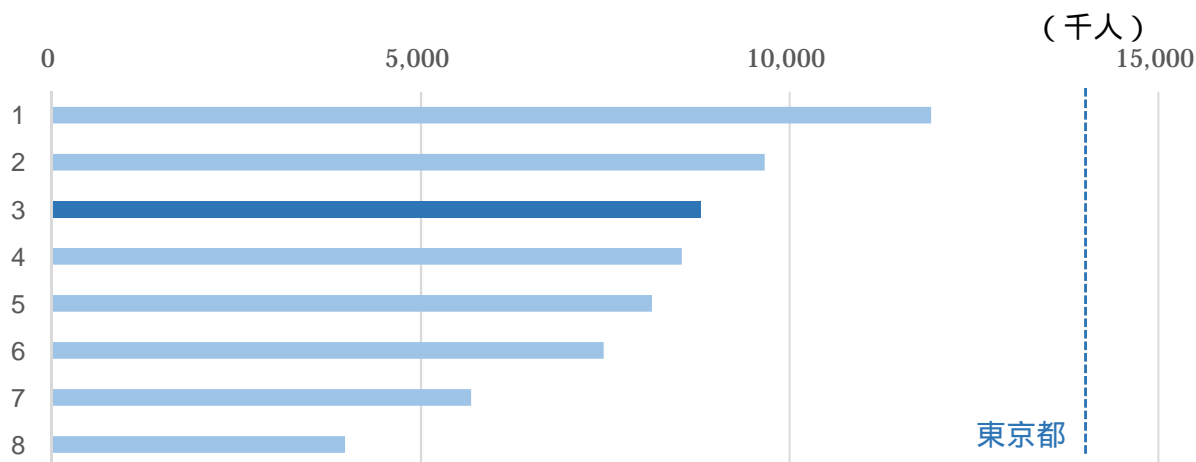


大阪がスーパーシティの実現をめざす背景

世界有数の都市 大阪

- 大阪府は世界有数の人口集積と経済規模を持つ都市である。
- 国内都市の特性を評価した調査結果では、大阪市は総合で1位に位置付けられている。分野別では交通・アクセス、経済・ビジネス、文化・交流の分野で1位と高い評価を得ている。

世界主要都市の人口比較



大阪の人口（令和4年）
879万人

大阪の経済規模（令和元年）
約41兆円

出典

- 国連人口統計年鑑（2020）,table08 Population of capital cities and cities of 100 000 or more inhabitants :latest available year, 2001 – 2020(<https://unstats.un.org/unsd/demographic-social/products/dyb/dybsets/2020.pdf>)
- 大阪府, 令和元年大阪府民経済計算, (<https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/gdp/>)
- 大阪府, 大阪府の毎月推計人口（令和4年7月）, (<https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/jinkou/index.html>)
- 東京都, 東京都の人口（推計）（令和4年7月）, (<https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/jsuikiei/js-index.htm>)

日本の都市特性評価 2022年度調査結果

順位	都市名	スコア
1	大阪市	1242.8
2	京都市	1167.7
3	福岡市	1147.7
4	横浜市	1140.5
5	名古屋市	1131.7
6	神戸市	1048.1
7	仙台市	977.3
8	金沢市	977.3
9	浜松市	954.0
10	松本市	950.1

【JPC（日本の都市特性評価）2022年の対象都市について】
JPCは、国内の138都市と東京23区を対象としている。138都市の選定基準については下記のとおり。

「東京23区」は別途区ごとに集計されているため、上記ランキングに含まれない

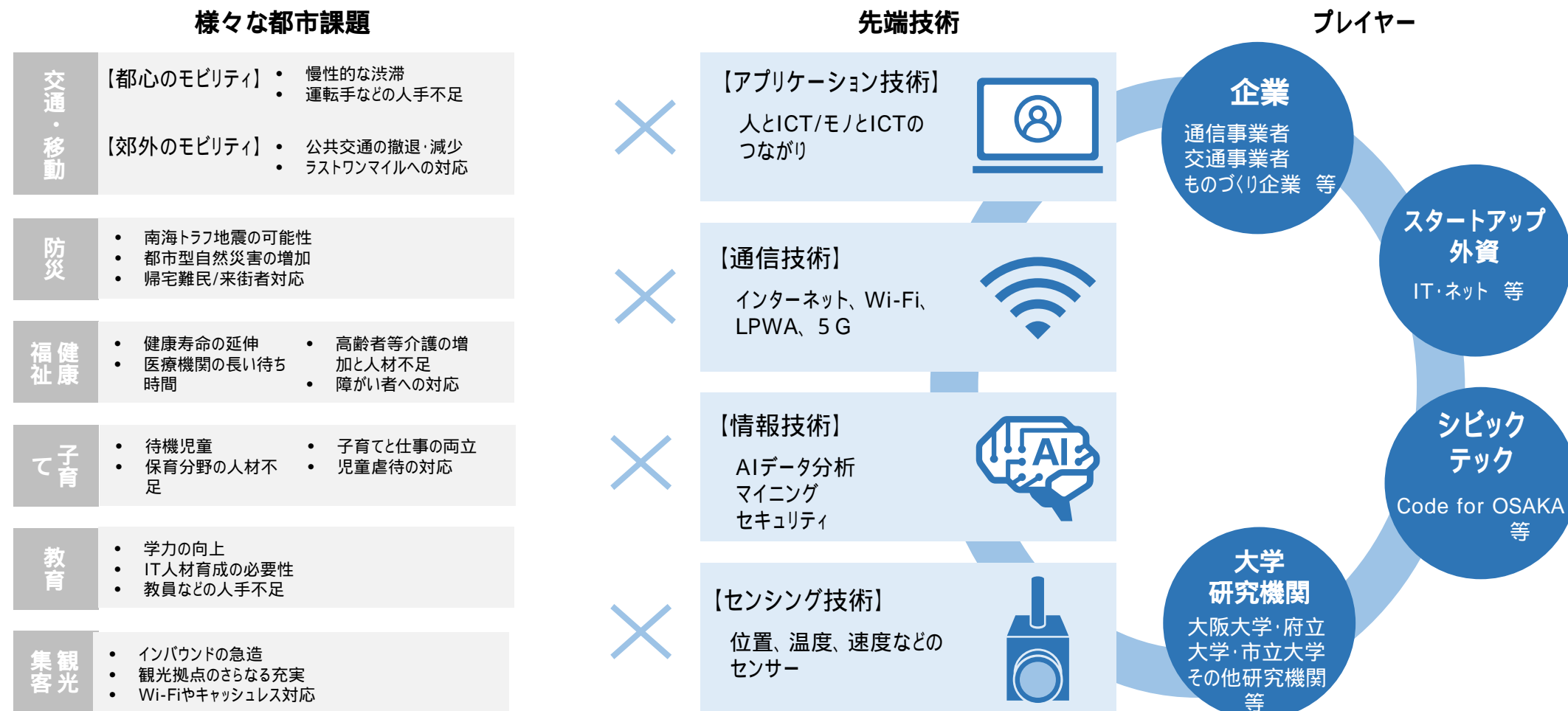
- 1) 政令指定都市
- 2) 都道府県庁所在地（政令指定都市を除く）
- 3) 人口17万人以上の都市

出典：森記念財団都市戦略研究所

(<https://mori-m-foundation.or.jp/ius/jpc/2020.shtml>)

大阪がスーパーシティの実現をめざす背景 世界有数の都市 大阪

- 大阪ではこれまで住民QoL向上の実現をめざすべく、スマートシティ戦略を策定し、先端的技術を活用して様々な都市課題に対応するため取組を進めてきた。



出典) 大阪スマートシティ戦略ver1.0 (一部改変)

- 「豊かで利便性の高い都市生活」を未来像とする副首都の実現と、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博を成功に導くことなどを背景に、「住民のQoL向上」を最大目標に掲げた、『スマートシティ戦略ver.1.0』を2020年3月に策定。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う新しい生活様式や国のデジタル政策の強化等、同戦略策定後におけるスマートシティを取り巻く環境の変化を踏まえ、これまで進めてきた取組を土台に、大阪・関西万博に向け、イノベーションを加速させていくため、「大阪スマートシティ戦略ver.2.0」を策定。

大阪がスーパーシティの実現をめざす背景 「グリーンフィールド」で先端的サービスをいち早く実装

- 大都市に立地する広大なグリーンフィールドを活用し、先端的サービスの実証や実装をいち早く積み重ねることが可能である。
- 2つのグリーンフィールドでの実績をブラウンフィールドに展開し、先端的サービスを社会の仕組みとしていく。そして、府域のみならず、全国都市の課題解決をリードする存在となる。

2つのグリーンフィールドからブラウンフィールドへ展開

夢洲

2023年～

夢洲コンストラクション

390haの広大な開発を先端テクノロジーを活かして円滑に、効率的に、安全に整備



夢洲：390ha
(万博会場面積 155ha)
大阪府大阪市此花区夢洲

2025年

大阪・関西万博

世界から集う2820万人 が
いのち輝く未来社会のデザインを
テーマに最先端技術を体現



提供：2025年日本国際博覧会協会
開催期間中（4月13日～10月13日）に
おける想定来場者数

うめきた2期

2024年～

うめきた2期

250万人/日が行きかう都心で
みどり×IoT×健康による
Parkness Challenge



イメージパース（提供：うめきた2期地区開発事業者）

うめきた2期：9ha
(うめきた2期事業区域全体17ha)
大阪府大阪市北区大深町
1番40、1番41の一部他

→ ブラウンフィールドへ繋げる

輝く未来社会

スーパーシティと
万博レガシーを
880万府民につなぐ

大阪全体に広がる
スマートシティ



大阪がスーパースティの実現をめざす背景 「グリーンフィールド」で先端的サービスをいち早く実装

- 「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催する大阪・関西万博では「未来医療が体験できるサービス」の提供、うめきた2期では「ヒューマンデータとAI分析等による健康増進プログラム」の提供等、ヘルスケアの分野において先端的な取組を行う。
- また、大阪・関西万博では「空飛ぶクルマ」や「自動運転車」の実装、夢洲コンストラクションでは「建設工事現場内外の移動等の円滑化」等、モビリティの分野において特色のある取組を行う。
- 大阪・関西万博の開催をはじめ、多くの人々やモノの移動、交流が行われる2つのグリーンフィールドにおける3つのプロジェクトを実証・実装の機会として、主としてモビリティとヘルスケアの分野を中心に先端的サービスを展開し、スーパースティを実現する。

夢洲



提供：2025年日本国際博覧会協会

大阪・関西万博会場イメージ図

うめきた2期



イメージパース（提供：うめきた2期地区開発事業者）

2つの グリーンフィールド

さらなる未来

ヘルスケア

誰もが最適な医療を受けることができる、未来の健康社会

夢洲コンストラクション

- ・バイタル情報及び位置情報によるリアルタイムでの安全・健康管理

大阪・関西万博

- ・「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマ
- ・大阪ヘルスケアパビリオン

うめきた2期

- ・ヒューマンデータとAI分析による健康増進プログラム

- ・データ連携基盤などを通じ、多岐にわたるデータを繋いだ次世代PHRを活用し、健康・医療のシームレスな融合や個人への最適化など、高度化された様々な先端的サービスを提供

モビリティ

時間や場所を問わず人や物が移動できる、未来の移動社会

夢洲コンストラクション

- ・建設工事現場内外の移動の円滑化

大阪・関西万博

- ・空飛ぶクルマ・自動運転車の社会実装
- ・大阪ファストパスサービス（仮称）

うめきた2期

- ・パーソナルモビリティによるエリアの回遊性やラストワンマイルの移動快適性の向上

- ・新たなモビリティの実装（自動運転、空飛ぶクルマ）
- ・ストレスフリーな移動サービス 等

大阪がスーパーシティの実現をめざす背景 全国都市のデジタル化をリード

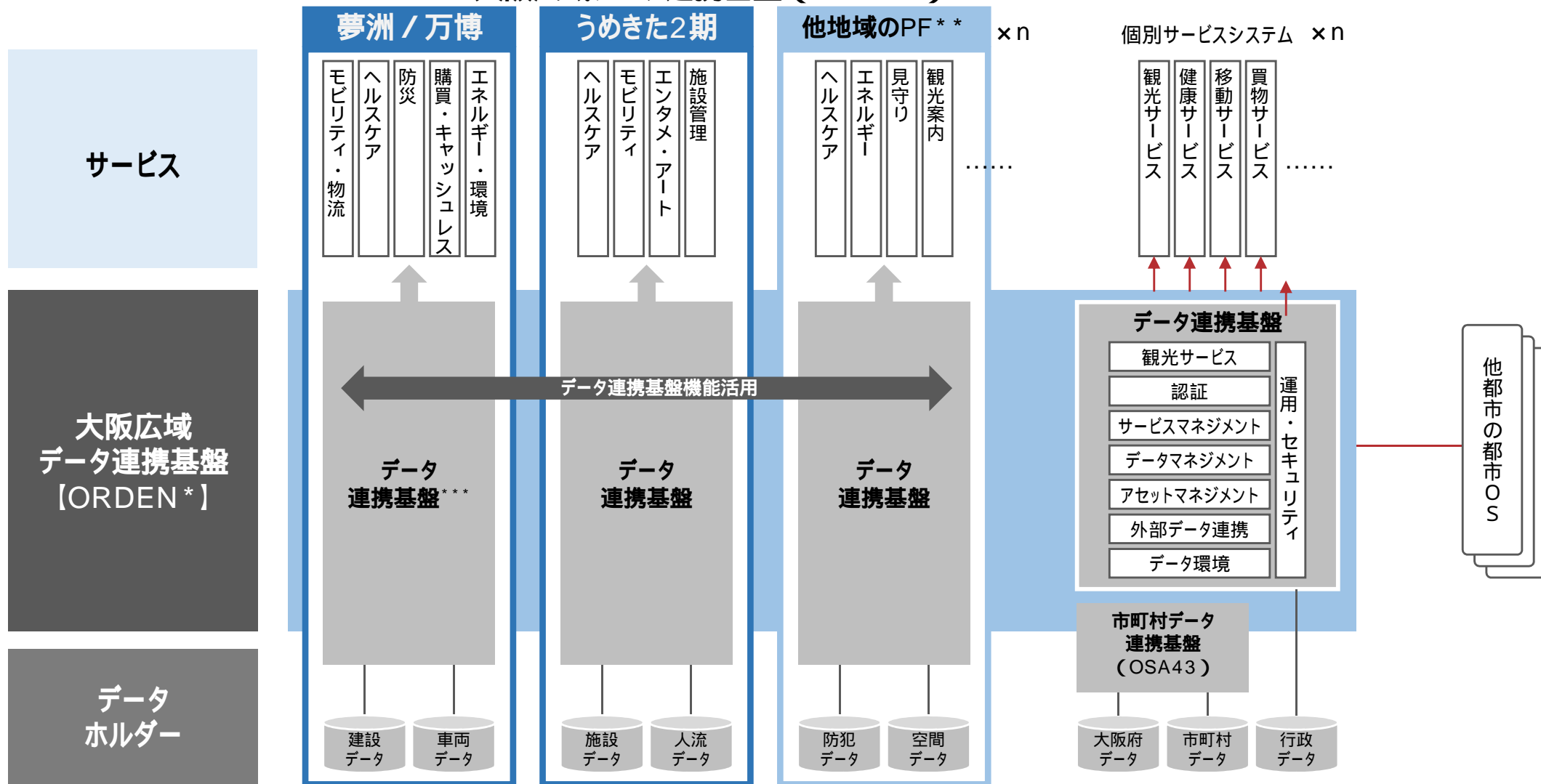
* ORDEN（オルデン）...Osaka Regional Data Exchange Networkの頭文字

PF...プラットフォームの略

*** 本図はORDENの完成型をイメージしたもの。各PF間の接続や、これらの地区毎等のPFとORDENの接続については今後、あり方を検討していく。

- 大阪のスーパーシティで先駆けた先端的サービスの成果を府域全体へ展開する仕組みとして、現在、「大阪広域データ連携基盤（ORDEN）」を構築中である。公民の様々なデータ連携・流通を促進し、住民の利便性向上に資するサービスを創出していく。
 - 将来的には、他の都市のデータ連携基盤と接続し、同様のサービス展開可能とする等、全国都市のデジタル化と課題解決をリードしていく。
- 大阪広域データ連携基盤（ORDEN）**

大阪広域データ連携基盤（ORDEN）



第2章

大阪のスーパーシティ構想の概観

成長し続ける都市・大阪

「健康といのち」をテーマに住民QoLを向上させる先端的サービスを展開

- 大阪のスーパーシティのテーマは「データで広げる『健康といのち』」。2つのグリーンフィールドで3つのプロジェクトを展開、大阪全体のブ라운フィールドへ拡張していく。

データで広げる“健康といのち”

2023年～

夢洲コンストラクション

3つの円滑化を推進

1. 建設工事現場内外の移動
2. 建設工事及び資材運搬
3. 建設作業員の安全・健康管理



2024年～

うめきた2期

中核機能のテーマ

ライフデザイン・イノベーション



イメージパス（提供：うめきた2期地区開発事業者）

超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータ等の活用により、創薬や医療機器開発などの分野にとどまらず、人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスを創出

2025年

大阪・関西万博

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

Saving Lives（いのちを救う）

Empowering Lives（いのちに力を与える）

Connecting Lives（いのちをつなぐ）



提供：2025年日本国際博覧会協会



2つのグリーンフィールド

- 夢洲
- うめきた2期

スーパーシティと
万博レガシーを展開

住民QoLの向上と
都市競争力の強化を
めざす

輝く未来社会



大阪のスーパーシティがめざす未来ビジョン

目的

住民QoLの向上

QoL...Quality of Life 「生活の質」

都市競争力の強化

大阪SDGs
行動憲章

わたしたちは、「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」をめざす「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(SDGs)の理念に賛同し、2025年大阪・関西万博の地元都市として、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて、SDGsの17ゴールの達成をめざします

ビジョン

ヘルスケア

豊かに暮らす健康長寿社会

ビジネス・イノベーション

活力にあふれるデータ駆動型社会

モビリティ

ストレスフリーな最適移動社会

大阪広域データ連携基盤 ORDEN [Osaka Regional Data Exchange Network]

主な先端的服务

医療

先端国際医療

先端国際医療サービス

国籍や場所を問わず、先端国際医療サービスを日常的に享受することができる環境を整備

健康

未来健康サービス

個別最適型の健康増進プログラム

ヒューマンデータとAI分析等のエビデンスに基づく個人にあった健康増進プログラムの提供

次世代PHRを活用した先端的服务の高度化

データ連携基盤などを通じて健康、医療、介護、スポーツなど、多岐にわたるデータを繋いだ次世代PHRを活用し、AI等の新たなテクノロジーを利用することで、健康・医療のシームレスな融合や個人への最適化など、高度化された様々な先端的服务を提供

移動

空飛ぶクルマ

日本初の空飛ぶクルマの社会実装

空飛ぶクルマを万博会場へのアクセスや観光周遊サービスなどで活用し、社会実装を実現

物流

次世代モビリティ

レベル4相当の自動運転の実施

万博会場内外のバスの移動を、自動運転（レベル4相当）で実施

自動運転×貨客混載による交通渋滞緩和

レベル2の自動運転バスを使った建設作業員と工事資材の効率的輸送により交通渋滞緩和

まちづくり

夢洲コンストラクション

ドローン等による建設現場の革新

資材運搬、測量、工事管理、現場見守り等にドローン、BIM・CIMデータ等を積極活用

防災

うめきたパークネス

みどり×IoT×健康

健康増進サービス、リアルとデジタルの融合空間の創造、ロボットによる施設管理等により未来の公園を実現

ピンポイント気象予報

AI等による気象予報

AI技術と観測データなどを活用し、地域限定の気象予報サービスを提供

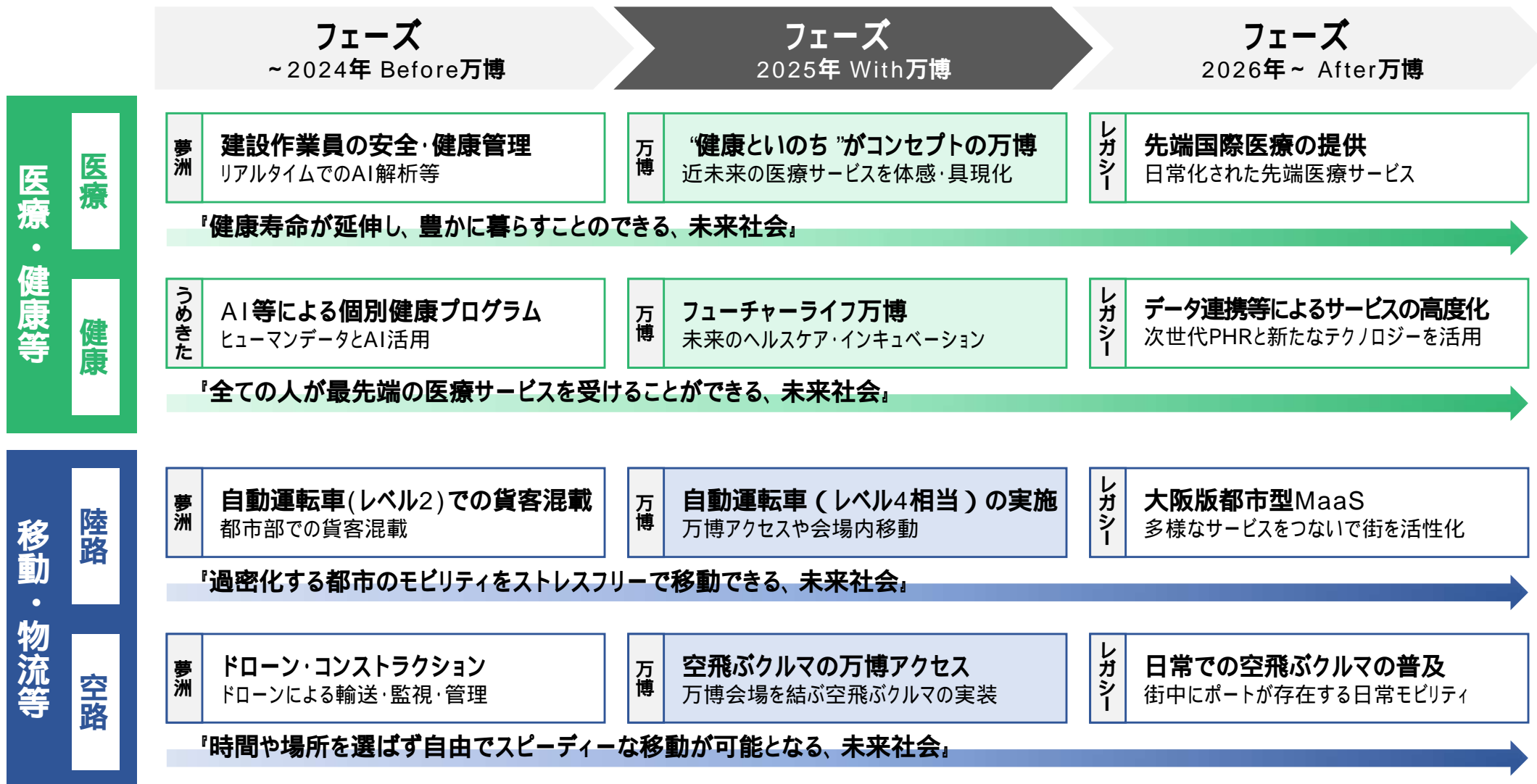
住民一人ひとりの生活の質が向上し、都市が成長し続ける大阪



大阪・関西万博で世界の人々が体現する最先端技術のサービスを
すべての人が享受できる環境をつくることで、発展的で持続性のある“未来社会”をめざす

2025年 大阪・関西万博を機に“豊かな未来社会”を実現

- スーパーシティの各フィールドでの取組は、大阪・関西万博を機に、更に技術革新、社会実装を促進し、府域全体（ブラウンフィールド）へ展開していく。



凡例 **夢洲** 夢洲コンストラクション **万博** 万博会場 **うめきた** うめきた2期 **レガシー** 万博レガシー

住民一人ひとりの生活の質が向上し、都市が成長し続ける大阪【医療・健康等】

- 誰もが最適な医療サービス・健康サービスを受けることができる未来の健康社会の実現に向けて、スーパーシティのフィールドで実績を重ねていく。

		フェーズ ～ 2024年 Before万博	フェーズ 2025年 With万博	フェーズ 2026年～ After万博
医療・健康等	ビジョンイメージ	建設作業員の安全・健康管理 	“健康といのち”がコンセプトの万博  <p>「大阪ヘルスケアパビリオン」イメージ図</p>	先端国際医療の提供  <p>AIや遠隔で世界の最新医療を</p>
	サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 広大な敷地で働く建設作業員の健康管理のために、バイタル情報や滞在場所環境、気象情報などをAI解析し、個人にあった適切なタイミングでのアラートを通知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大阪府と大阪市がREBORNをテーマに設置する「大阪ヘルスケアパビリオン」では、未来の診断や健康ケア、未来医療が体験できるサービスを提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 遠隔医療や遠隔投薬、AIやロボットによる診療支援、再生医療などの先端医療サービスを、国籍や場所を問わず、日常的に享受することができる環境の整備。
医療・健康等	ビジョンイメージ	AI等による個別健康プログラム  <p>健康増進施設イメージバース</p>	フューチャーライフ万博  <p>提供：2025年日本国際博覧会協会</p>	データ連携等によるサービスの高度化  <p>出典：総務省HP PHR（パーソナルヘルスレコード）サービス イメージ</p>
	サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ● うめきた2期に設置予定の温泉利用型健康増進施設にて、ヒューマンデータとAI分析等によるエビデンスに基づく健康増進プログラムを提供。 ● 効果を数値化してデータに還元することで循環型の健康サイクルを形成。 	<ul style="list-style-type: none"> ● フューチャーライフ万博は、Society5.0が実現する未来社会を「共創」によってつくりあげるインキュベーション型事業。 ● フューチャーライフパークを拠点に、未来のヘルスケア(健康医療等データ利活用、医療機器・福祉用具等)も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● データ連携基盤などを通じて健康、医療、介護、スポーツなど、多岐にわたるデータを繋いだ次世代PHRを活用し、AI等の新たなテクノロジーを利用することで、健康・医療のシームレスな融合や個人への最適化など、高度化された様々な先端的サービスを提供。

住民一人ひとりの生活の質が向上し、都市が成長し続ける大阪【移動・物流等】

- 時間や場所を問わず人や物が移動できる未来の移動社会の実現に向けて、スーパーシティのフィールドで実績を重ねていく。

		フェーズ ～ 2024年 Before万博	フェーズ 2025年 With万博	フェーズ 2026年～ After万博
移動・物流等	ビジョンイメージ	自動運転車(レベル2)での貨客混載 	自動運転車(レベル4相当)の実施 	多様なサービスを繋ぐ大阪版都市型MaaS 
	サービス内容	貨客混載 出典：経済産業省HP <ul style="list-style-type: none"> 作業員用シャトルバスで貨客混載することで工事資材や弁当等の運送を効率化 シャトルバスの自動運転化 <ul style="list-style-type: none"> レベル2での自動運転走行を大型第一種免許で可能にし、輸送効率を向上 	自動運転 / 万博会場内 <ul style="list-style-type: none"> 万博会場内の移動を、バスの自動運転（レベル4相当）で実施 自動運転 / 万博アクセス <ul style="list-style-type: none"> 万博会場へのアクセスの一部を、バスの自動運転（レベル4相当）で実施 	都市型MaaS <ul style="list-style-type: none"> 交通手段による移動を1つのサービスとして捉え、それらをシームレスにつなぐことで、移動を支えるトータルサービスを実現し、多様なサービスが選択できる都市型MaaSを社会実装
	ビジョンイメージ	ドローン・コンストラクション 	日本初の空飛ぶクルマの社会実装 	日常での空飛ぶクルマの普及 
	サービス内容	ドローンによる夢洲開発の円滑化 <ul style="list-style-type: none"> 夢洲開発における工事の円滑な進捗と安全管理のためにドローンを最大限に活用 <ol style="list-style-type: none"> ドローンによる資材等の運搬、作業現場域内の高所等への資材配送 ドローンを活用した測量・工事管理 ドローンによる建設現場の見守り 	空飛ぶクルマ / 万博アクセス <ul style="list-style-type: none"> 関西の主要空港から万博会場を結ぶ、空のアクセスとしての空飛ぶクルマの社会実装 空飛ぶクルマ / 観光周遊 <ul style="list-style-type: none"> 主要観光地と万博会場を結ぶ、観光アクセスとしての空飛ぶクルマ 	街なかにポートが存在する日常モビリティ <ul style="list-style-type: none"> 主要駅やビルの屋上（Hポート・Rポート）、コンビニの駐車場、ウォーターフロントなど、市街地の様々な場所にポートが存在し、日常使いのモビリティとして空飛ぶクルマが普及

スーパーシティ実現のスケジュール

